

BA8000 Pro
フレッツ・グループアクセス接続ガイド

BA8000 Pro

株式会社NTT-ME

はじめに

- ・本ガイドはフレッツグループアクセスサービスでの接続方法を説明したものです。
- ・フレッツグループアクセスサービスの詳細については下記サイトをご覧ください。
<http://www.ntt-east.co.jp/flets/groupaccess/promo.html>

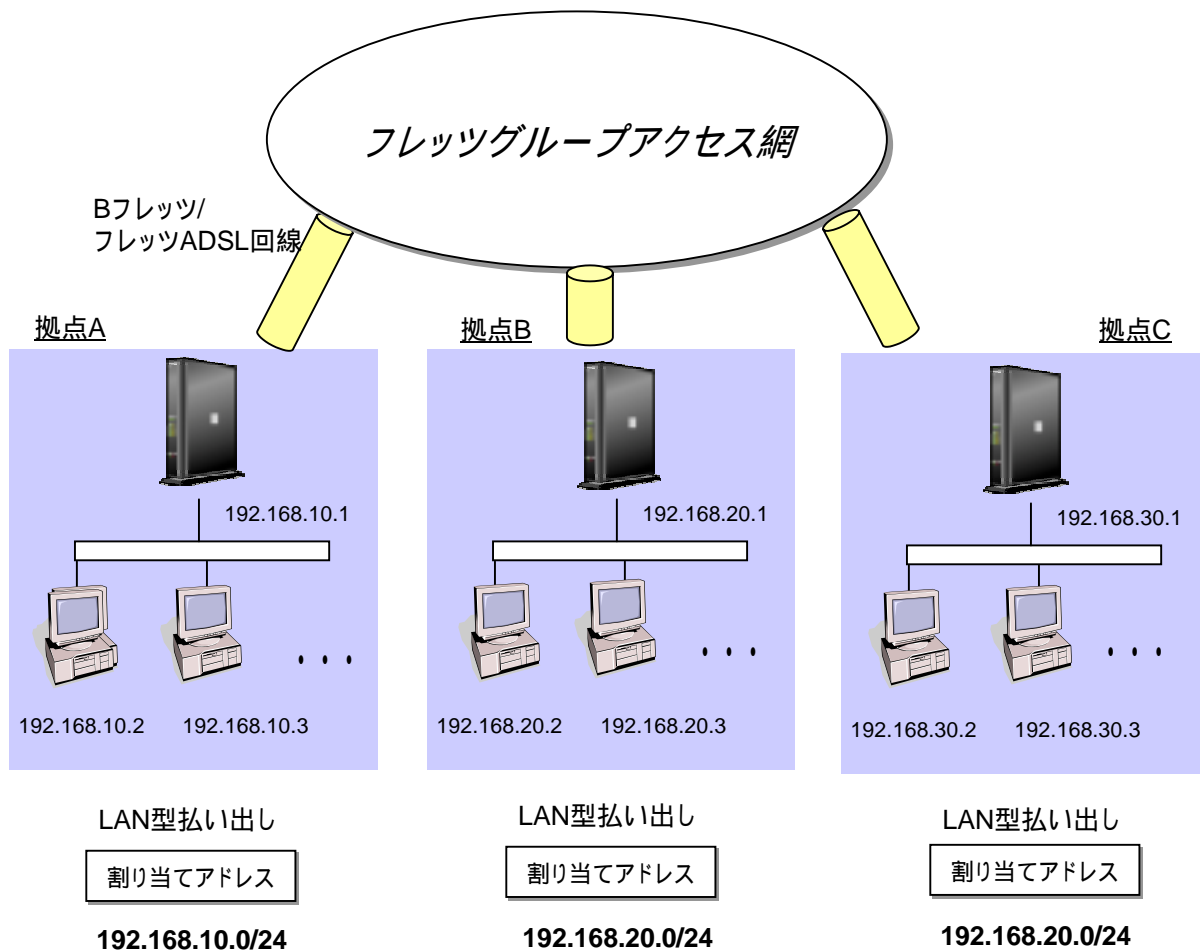
更新履歴 初版 2002 年 12 月 12 日

フレッツグループアクセスについて

フレッツグループアクセスはフレッツサービス契約ユーザ間での閉域網を提供するサービスです。

フレッツグループアクセスでのIPアドレスの払い出し形態には「端末型」と「LAN型」があります。「端末型」は各拠点にIPアドレスを1つ払い出す形態、一方の「LAN型」はIPアドレスをセグメントで払い出す形態です。「端末型」は通常ADSLモデムまたは光回線終端装置に端末を直接接続した形態で利用します。

本ガイドでは「LAN型」払い出しでのBA8000 Proの接続方法について解説します。



IPアドレスの割り当て

フレッツ網より割り当てられるアドレスのうち、最初のアドレス(ネットワークアドレス)と最後のアドレス(ブロードキャストアドレス)はホスト等に割り当てることができません。通常2番目のアドレスをルータに割り当てていただきます。

IPアドレスの割り当て例: (IPアドレスが**192.168.10.0/24**の場合)

- 192.168.10.0 ネットワークアドレス(端末に割り当て不可)
- 192.168.10.1 ルータアドレス(推奨)
- 192.168.10.2 ~ 端末に割り当てるアドレス(最大13個)
- 192.168.10.255 ブロードキャストアドレス(端末に割り当て不可)

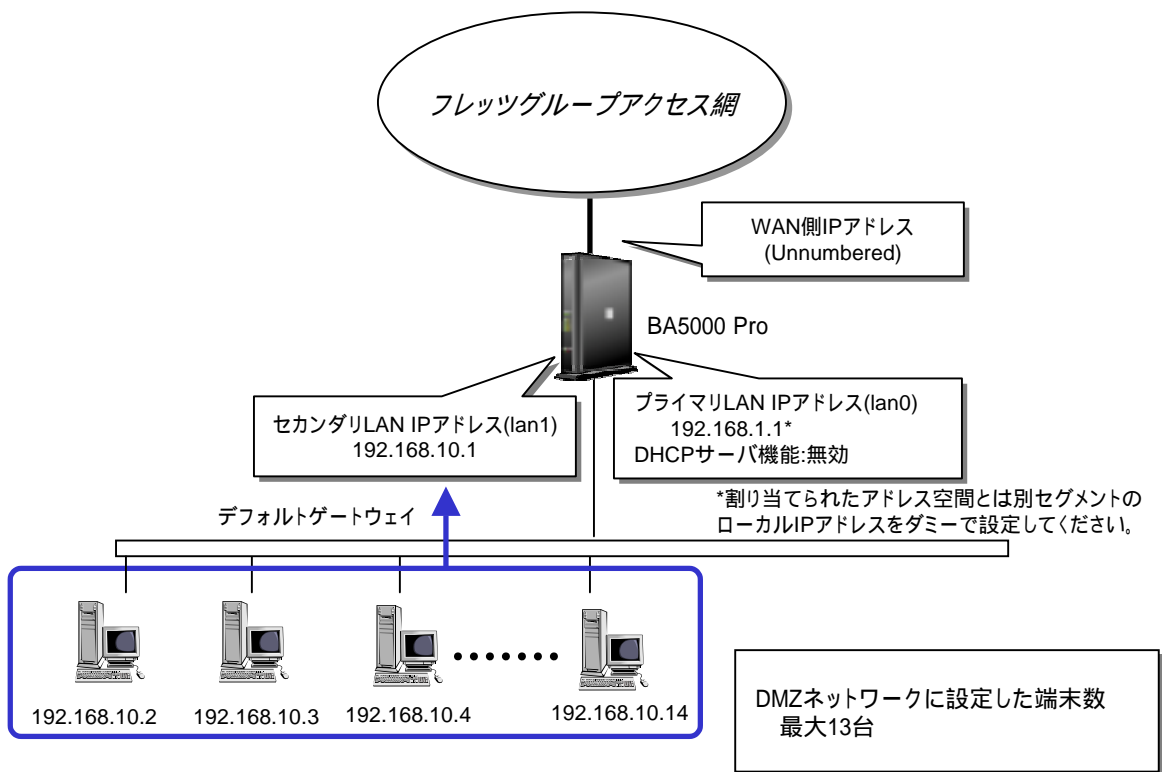
端末に割り当てるアドレスはBA8000 Proの仕様上最大13個としてください。

『PPPoE接続設定』の『DMZネットワーク』に設定していただきます。

詳細については、8ページをご覧ください。

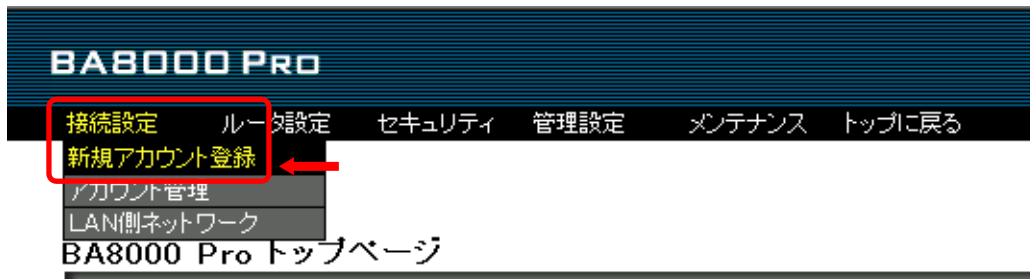
プライマリLAN IPアドレスは提供されたアドレスとは無関係のアドレスをダミーで設定してください。

DHCPサーバ機能は無効にし、各端末にはそれぞれIPアドレスを設定してください。



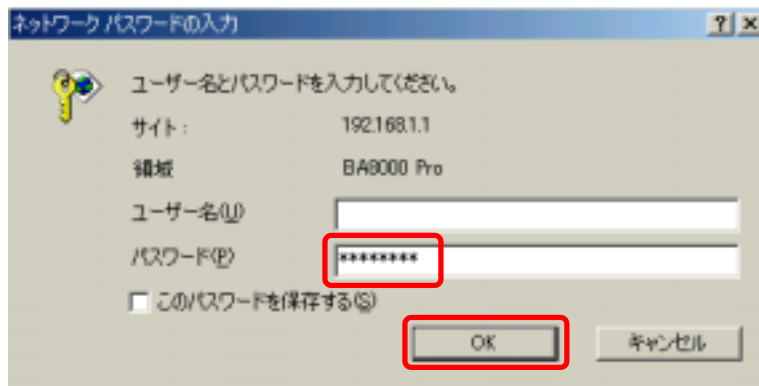
設定手順

1. WebブラウザのURL欄に「http://192.168.1.1/」と入力し「Enter」キーを押します。
BA8000 Pro設定画面のトップページが表示されますので**[接続設定]**の**[新規アカウント登録]**を選択して下さい。



ユーザ名/パスワード入力画面が表示されます。パスワード欄に「password」を入力し**[OK]**ボタンをクリックします。

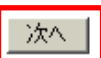
上記は工場出荷時のパスワードです。パスワードを変更している場合は設定してあるパスワードを入力してください。



2. 新規アカウント登録画面で **[接続方法]**から**[PPPoE接続]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。

新規アカウント登録

ブロードバンド接続方式を選択してください。



3. [PPPoE接続設定]の各項目を設定して最下段の[設定]ボタンを押してください。

PPPoE接続設定

PPPoE接続アカウントを登録/修正します。[最大登録数:2アカウント]

アカウント名 [任意]	group1
PPPoEユーザ名	group1@flets
PPPoEパスワード	*****
PPPoEパスワード再入力	*****
PPPoEサービス名 [通常不要]	
PPP認証方式	接続相手にあわせる [推奨] ▼
WAN側IPアドレス設定方法	固定設定 ▼
固定WAN側IPアドレス	192 . 168 . 10 . 1
DNSサーバアドレス設定方法	自動取得 ▼
プライマリDNSサーバアドレス
セカンダリDNSサーバアドレス
MSSサイズ	1414 byte

アカウント名 : 任意のアカウント名を設定してください。

PPPoEユーザ名 : 指定されたPPPoE接続ユーザ名を正確に入力してください。

@(アットマーク) 以下も正確に入力する必要があります。また、大文字・小文字は別の文字として扱われますのでご注意ください。

PPPoEパスワード: 指定されたPPPoE接続パスワードを正確に入力してください。

大文字・小文字は別の文字として扱われますのでご注意ください。

PPPoEサービス名 : 空欄で結構です。

PPP認証方式 : 通常[接続相手にあわせる]を選択してください。

WAN側IPアドレス設定方法 : [固定設定] を選択してください。

固定WAN側IPアドレス : 提供されたアドレスセグメントの内の先頭(ネットワークアドレス)以外のアドレスを設定してください。(通常は先頭から2番目のアドレスを入力してください)

DNSサーバアドレス設定方法 : [自動設定]を選択してください。

プライマリ/セカンダリDNSアドレス : 空欄で結構です。

MSSサイズ : 1414に設定してください。

続いて[DMZネットワークテーブル]の DMZネットワークサブネットマスクを投入し、最下段の[設定]をクリックし保存 & 再起動を行ってください。
マスク長28ビット以上を設定してください。

DMZ ネットワークテーブル

本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

注意:

複数グローバルIPアドレスサービス (unnumbered接続) で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク

4. [接続設定]メニューから[アカウント管理]を選択してください。



アカウント管理画面の[接続方式の選択]メニューから[PPPoE接続]を選択してください。

接続アカウント管理

使用するブロードバンド接続方式を選択してください。

接続方式の選択

続いて[PPPoE接続アカウントリスト]の各項目を設定して[設定]ボタンを押して保存・再起動してください。

PPPoE接続アカウントリスト



PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

状態	アカウント名	DNSアドレス	セッション	接続	アイドル タイム	操作	修/削
Disabled	group1		プライマリ	常時	20 分		修正 削除

PPP-Echo-Request送出間隔 秒

PPP-Echo-Requestリトライ回数 回

設定 やり直し

セッション : 必ずプライマリを選択してください。
接続 : 自動、手動、常時から選択してください。
自動---LAN側の端末からインターネットへの通信を検出した際に自動的に接続を開始します。
手動---[接続]ボタンを押したら接続を開始します。
常時---電源投入直後、再起動直後から自動的に接続を開始します。
なんらかの理由によりPPPoEセッションが切断された場合も自動的に再接続します。
(セッションキーアライブ機能)
アイドルタイム : ここで設定した時間通信がない場合自動的に切断します。
0に設定した場合は切断動作は行いません。
その他の設定は通常変更しないでください。

再度アカウント管理画面を開き、[PPPoE接続アカウントリスト]の状態に「Connected」が表示されていたら接続完了です。

(「Disconnected」と表示されている場合は[接続]ボタンを押してください)
「Connected」が表示されない場合は11ページの[注意]をご参照ください。

続いてDMZネットワークの設定を行います。

[PPPoE接続アカウントリスト]で[修正]ボタンをクリックしてください

5. PPPoE接続設定画面で[DMZネットワークの追加]をクリックしてください。

DMZネットワークテーブル



本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

注意:

複数グローバルIPアドレスサービス（unnumbered接続）で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク	255	255	255	240
最初のIPアドレス	最後のIPアドレス			修/削
DMZネットワークの追加				
設定	やり直し			

DMZネットワーク内の端末に設定する「最初のIPアドレス」「最後のIPアドレス」を入力し、**[設定]**ボタンを押してください。

DMZネットワークの追加/修正

DMZネットワーク範囲を追加/修正します。

最初のIPアドレス	192	168	10	2
最後のIPアドレス	192	168	10	14
設定	戻る			

DMZネットワークの範囲は最大4つまで設定することができます。実際に使用する端末のアドレス範囲を設定して下さい。

例) 192.168.10.2 ~ 192.168.10.4, 192.168.10.7, 192.168.10.8を設定する場合

DMZネットワーク	: 最初のIPアドレス	192.168.10.2
	: 最後のIPアドレス	192.168.10.4
DMZネットワーク	: 最初のIPアドレス	192.168.10.7
	: 最後のIPアドレス	192.168.10.8

ネットワークアドレス、ブロードキャストアドレスおよびルータのWAN側ポートに設定したアドレス（この場合は192.168.10.1）は絶対にDMZネットワークの範囲に含めないようにしてください。

DMZネットワークに設定するアドレス数は13以下にしてください。

DMZネットワークが正しく設定されていることをご確認の上[設定]をクリックして保存 & 再起動してください。

DMZネットワークテーブル



本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

注意:

複数グローバルIPアドレスサービス (unnumbered接続) で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク

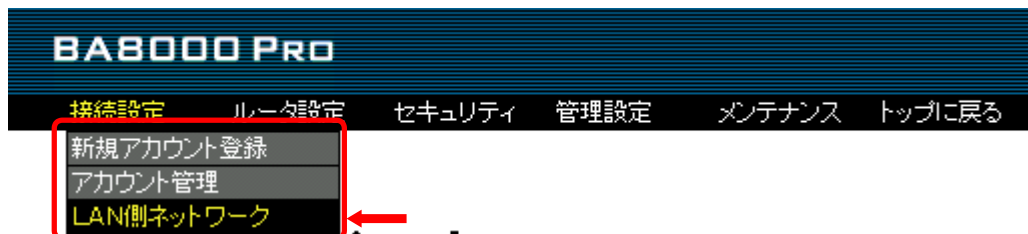
最初のIPアドレス	最後のIPアドレス	修/削
192.168.10.2	192.168.10.14	修正 削除

DMZネットワークの追加

設定

やり直し

6. [接続設定]メニューから[LAN側ネットワーク]を選択してください。



[セカンダリLANモード]に「DMZネットワークのゲートウェイアドレス」を選択し、[セカンダリLAN IPアドレス]に3.で[固定WAN側IPアドレス]に設定したアドレス(この場合は192.168.10.1)を投入してください。

プライマリLANIPアドレスには提供されたアドレスセグメント外の実際には使用しないIPアドレスをダミーで設定してください。(工場出荷時の設定は192.168.1.1)

DHCPサーバ、ProxyDNS、Universal Plug & Playの各機能は無効に設定してください。

最下段の[設定]ボタンをクリックして保存&再起動してください。

LAN側ネットワーク

本製品のLAN側ポートの設定を行います。

プライマリLAN IPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
プライマリLANサブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
セカンダリLANモード	DMZネットワークのゲートウェイアドレス ▼
セカンダリLAN IPアドレス	192 . 168 . 10 . 1
セカンダリLANサブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
DHCPサーバ機能 [プライマリLANのみ]	無効 ▼ DHCPリース状況の表示
LANデフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
WINSサーバIPアドレス	192 . 168 . 1 . 3
ドメイン名	yoshida
DHCPリース時間	30 時間 <input type="checkbox"/> 無期限リース
Proxy DNS機能 [DNSルーティング利用時必須]	無効 ▼
Universal Plug and Play機能	無効 ▼

[ご利用上の注意]

- ・フレッツグループアクセス利用時にはマルチセッション接続機能を利用することはできません。アカウントのセッションは必ずプライマリに設定してご使用ください。
- ・フレッツグループアクセス利用時にはBA8000 ProのDHCPサーバ機能はご利用いただけません。各端末にIPアドレスを設定してください。
- ・本製品の仕様上、端末の台数は13台以下でご利用ください。
- ・4.でPPPoEアカウントリストの**[状態]**に“Connected”が表示されない場合は以下をご確認ください。

“Disabled”と表示される場合

PPPoE接続が無効です。

- ・アカウント管理画面の[接続方式の選択]メニューから[PPPoE接続]を選択しているかご確認ください。
- ・PPPoE接続アカウントリストでセッションにプライマリを選択しているかご確認ください。

“Link Down”と表示される場合

WANポートに接続している機器(ADSLモデム、光回線終端装置)とのリンクが確立されていません。

- ・ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
- ・WANポートに接続している機器の電源が入っていることをご確認ください。
- ・BA8000 ProのWANランプが点灯しない場合WANポートに接続している機器(のLANポート)が故障していないかご確認ください。

“PPPoE:PADI-Timeout”または“PPPoE:PADR-Timeout”と表示される場合

ADSL回線のリンクダウン、またはフレッツ網内サーバの故障の可能性があります。

- ・数分時間をおいて再度接続を試みてください。
- ・それでも接続できない場合NTT東日本・NTT西日本へお問い合わせください。

“PPPoE:Authentication-Failed”または“PPPoE:Authentication-Timeout”と表示される場合

PPPoE接続設定でPPPoE接続ユーザ名、PPPoE接続パスワードが誤って設定されている可能性があります。

正しく設定されているにもかかわらずこのメッセージが表示される場合はプロバイダに登録が完了していることをご確認ください。